

第14回 匿名データ作成方法ワーキンググループ

令和2年国勢調査の匿名データの作成方法について (案)

令和5年2月21日 統計研究研修所

1. 国勢調査の匿名化処理について

匿名化処理（現行）

- 情報の削除
- サンプルング
- 調査項目の区分の再編（（例）リコーディング、トップ（ボトム）コーディング）
- 攪乱処理
- ランダムソート



匿名化処理において検討すべき事項

- 外観識別性を有する調査項目の選定
- しきい値の基準及び処理方法（基準に満たない値、区分等について、匿名化の処理を施す）
- 母集団一意二意の世帯の削除方法

2. 今回の議論のポイント

外観識別性について

匿名化処理を検討するにあたり、「外観識別性」が判断材料の一つとなる

- 外観識別性が高い調査項目の定義として、「客観的かつ視覚的に識別可能なもの」を検討
 - ✓ 国勢調査における上記の基準に該当する調査項目
 - 住宅の建て方
 - 建物全体の階数
 - 住居の種類 等
- 令和2年国勢調査において、加えて検討を要する事項
 - ✓ 調査項目ごとの外観識別性の有無の確認
 - ✓ 複数の調査項目を組み合わせるにより、識別が可能となると考えられるもの
 - ✓ 入手可能な公開されている情報との照合により判明するもの

(参考) 令和2年国勢調査の匿名データの作成の進め方

※ 令和2年国勢調査の匿名データの作成について、以下の内容を3回に分けて作成方法WGで検討を進める

- 第14回 (令和5年2月21日) ※今回
 - 外観識別性を有する調査項目の選定

- 第15回 (令和5年3月予定)
 - しきい値の基準及び処理方法
 - ✓ 特徴的な世帯の削除
 - ✓ 分類区分の再編
 - 母集団一意二意の世帯の削除方法

- 第16回 (令和5年4月予定)
 - 攪乱処理の方法